

ま ち の 話 題

豊 岡

神美小学校入学式

ピカピカの一年生
みんな元気に「はい！」



▲お兄さん、お姉さんに手を引かれ式典会場に入場する新入生

暖かな春の日差しに包まれた4月7日、市内40の小中学校で入学式が行われました。神美小学校では、午前10時から、男子18人、女子6人の計24人の新入生を迎え、式典が行われました。「入学児童呼名」で先生に名前を呼ばれると、みんな元気に「はい！」。新入生の歌「どきどきドン！1年生」も力いっぱい歌うことができ、そのかわいい姿に、参列した保護者も笑顔があふれていました。

この日、新1年生には安全に楽しく通学できるようにと教育委員会から防犯ブザーが、また、各事業所等から交通安全ワッペンや鈴、ランドセルカバーがお祝いとして贈られました。

城 崎

よし焼きまつり

風を受けて燃え上がる炎

4月9日、城崎町戸島地区で春の訪れを告げるイベント、よし焼きまつりが同地区主催で行われました。

よし焼きは、60年前から続く伝統行事で、五穀豊穡と無病息災を祈願して、年に1度、地区に隣接した円山川に自生する枯れ葦を燃やすものです。

当日は、神事が執り行われた後、約30、000平方メートルにわたって自生する枯れ葦に火が放たれ、風を受けた火は高々と燃え上がりました。

由留佐真一朗区長は、「今年は大雪で心配でしたが、順調に燃えてくれた」とほっとしていました。



▲見守る人たちよりも高く燃え上がる炎。一気に燃え上がるさまは圧巻

竹 野

森の散策体験

21世紀の森を見学



▲ハイキング気分で植物観察。参加者は豊かな自然が地域に残っていることを改めて実感していた

竹野町森本地区では、12ヘクタールの山林を森づくり活動拠点とするため、「21世紀の森づくり事業」という名称で、森林整備や遊歩道、案内看板、東屋などの整備が進められています。

4月9日には、事業のPRを兼ねて、地域住民などを対象に森の散策体験が開催されました。

当日は、参加者11人が現地に入山し、講師の説明を受けながら、可憐な花を咲かせている春植物などを中心に植物観察などを行いました。参加者の一人は、「草花や木、葉の違いの説明を聞いてとてもおもしろかったです」と話していました。

なお、この森づくり事業は、平成18年度中に完成する予定です。

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報係までご連絡ください。

日高

松岡・御柱祭り

五穀豊穡を願って

4月14日夕刻、日高町松岡地区の円山川河川敷において、御柱祭りが行われました。

これは、松や竹を材料にして約5メートルの鉢形の御柱松を作り、その先に老婆に見立てたわら人形をくくりつけ焼き捨てる火祭り

で、通称「ばば焼き祭り」と呼ばれています。言い伝えによると、承久の乱（1221年）で配流された雅成親王を追って来た幸姫が老婆の虚言でこの地で入水自殺し、その霊を慰めるために始まったとされています。よく燃えた年は豊作になると言われています。この日は御柱松に点火されると勢いよく燃え上がり、区民はその炎の行方を見守っていました。



▲松岡区民によって大切に受け継がれている行事「御柱祭り」

出石

出石桜まつり
きれいだね
楽しいね

出石では、3月25日から4月30日までを桜まつり月間としています。

この期間中、出石の桜の名所の一つ、出石城跡では、いたる所にぼんぼりが設置され、午後11時まで点灯しています。

ソメイヨシノが満開を迎えた4月16日には、市内外から多くの観光客が訪れ、子ども連れの家族や友人同士のグループが桜の木の下でシートを広げ、持ち寄った弁当を食べる姿があらこちらで見られました。

また、点灯されたぼんぼりの灯りが咲き誇る桜を照らし、幻想的な雰囲気醸し出していました。



▲満開の桜の下で、子ども連れの家族や気の合う仲間同士が、楽しいひとときを過ごしていた

但東

河本ひょうたんまつり

コウノトリと

食べるひょうたん？

4月16日、「河本新四国八十八カ所ひょうたんまつり」が河本地区の本澤寺周辺で行われ、お寺の裏山の遊歩道にまつられた88カ所のお地藏さんをめぐって無病息災を願おうと、多くの方が訪れました。

境内では、このまつりの名物「手作りのひょうたん」の売店があり、さまざまなかたちやコウノトリが描かれたひょうたんが目見えました。その他、ひょうたんの形をした「ひょうたん焼き」の売店も登場するなど多くの方でにぎわいました。また、来場者には、景品が当たる福引きやおにぎりなどが振る舞われ、皆さん満足の様子でした。



▲ひょうたんの形をした「ひょうたん焼き」と名物「手作りのひょうたん」